

押小だより

て ん し ん ら ん ま ん

天真爛漫



令和5年11月2日
さくら市立押上小学校
令和5年度 第10号
文責：仁平 博幸

109人全員主役、全力の運動会に感動と感謝

「以上をもちまして、令和5年度押上小学校運動会の閉会式を終わりにします。」

代表児童の閉会の言葉とともに運動会が終わり、私は、とてもうれしく幸せな気持ちで一杯になっていました。

令和5年10月21日（土）、晴天の下、今年度の運動会を実施しました。今年度は入場制限等を行わず、また、お客様を招待しての運動会とし、多くのご来賓と多くのご家族、地域の方々にお越しいただき、子どもたちへの声援、拍手等を頂戴しました。改めて、お越しいただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

前回の学校便りでもお知らせしましたとおり、私は運動会を実施するに当たり大切にしたいことがありました。それは、子どもたちが「全力」で取り組むということでした。「全力の運動会」は、自分も、みんなも、見ている人も感動し、達成感とともに「幸せ」を感じるものになる。そして、全力を出している一人一人全員がまさに「主役」であり「主人公」になると思ったからです。そして、このことは、私の思い描く学校の姿である「一人一人が主人公の学校」「みんなが幸せを感じる学校」そのものだからです。

運動会を約1週間後に控えた10月13日（金）から全体練習を行いました。まず、私が驚いたのは、子どもたちの集合でした。練習開始時刻前に入場門に全員が集まり座っています。そして応援団長によるあいさつ。子どもたちは元気に「お願いします」のあいさつをします。その姿勢や声、態度。私は向かい側の朝礼台付近から見ていましたが、子どもたちの真剣さが伝わってくるのです。そして、練習開始。開会式の体形に移動した後、入場行進を行いました。足がしっかりと上がり、美しさすら感じるその歩き方にまた感動しました。開会式、閉会式の練習をその後行いましたが、代表児童の返事や礼、言葉・スピーチなどとても立派でこれも感心することばかりでした。

子どもたちは、まさに練習から「全力」を意識して運動会に臨んでいることを実感し、とてもうれしく感じていました。



21日（土）、欠席児童もなく、109人全員が参加しての運動会を迎えました。前日の会場準備では、高学年の子どもたちが一生懸命に取り組み、自分たちで会場を作り上げていました。

そして、花火の合図とともに運動会が始まりました。開会式、そしてラジオ体操から演技が始まり、最後の上学年のリレー、そして閉会式。

どの競技・演技においても、子どもたちが全力で取り組む様子が見られました。また、高学年児童は係の仕事、また1～4年生も応援などに全力を出していた姿が見られました。私は、そのような子どもたちの「全力」の姿を見ていて、本当に「うれしさ」と「感動」、そして「幸せ」を感じました。

さて、実は、「全力を出す」のは難しいことと思っています。体調も関係しますし、周囲を考えてしまうなどのメンタルな部分も関係するからです。そのような、難しい「全力を出す」ことに一生懸命取り組んでいたからこそその姿が随所に見られました。

それは、5・6年生による「押小ソーラン2023」（よさこいソーラン）でのことでした。

演技後半、「どっこいしょ、どっこいしょ」の時に、目の前の児童が、何度かよろけて立てなくなりました。おどった経験がある方はお分かりかと思いますが、ソーランは真剣に一生懸命にやると足腰がふらふらになってそのような状態になってしまいます。その子はそれだけ、一生懸命に、まさに「全力」で演技をしていたのだと思います。また、ある子は威勢よく「ソーラン、ソーラン」と声を発し、まさに一心不乱におどっていました。ふだんからも元気はよい子ですが、私の予想をはるかに超えるその姿からも「全力」がひしひしと伝わってきました。

そして、なんといっても最高学年、小学校最後の運動会を一生懸命に「全力」で取り組んだ6年生の姿に感動をもらいました。



開会式、閉会式での所作、返事、言葉・スピーチなどは本当に見事でした。全体練習から感心、感動していた私は、閉会式が終わり、本当に、うれしく幸せな気持ちで一杯になっていたのです。

私は、開会式での校長の話で次のようなこととお話ししました。

児童のみなさん、今年の運動会のスローガンは「109人 全員主役 勝利目指して 全力疾走」です。今日は、ここにいるみなさん全員、一人一人が主役です。全力を出し切り、一生懸命に取り組み、自分も・みんなも・見ている人も感動し、「やってよかった」「がんばった」、そんな、『幸せ』を感じる運動会」となるようにと願っています。私も、みなさんから感動と幸せをもらいたいと思っています。
「主役」「全力」「幸せ」の運動会となるよう、がんばってください。

子どもたちは、まさに、スローガンのとおり「全力」を出し切り、「109人全員が主役」となった運動会、そして、みんなが「幸せ」を感じる運動会となったと思っています。

改めて、ご来校いただいた全ての皆様に感謝申し上げますとともに、すばらしい運動会を作り上げた全ての子どもたち、本校職員に感謝しています。「全力」の「全員主役」のすばらしい運動会を本当にありがとう。(仁平博幸)

ちょっと心配していたあいさつが。

夏休みが明けた9月、子どもたちの様子で実は少し心配なことがありました。それは、あいさつです。

夏休み前まではとても元気だったあいさつが、登校の時や廊下ですれ違った時、声が出ていないな…と心配になることが増えました。私の気のせいかもしれませんが、声が小さくなったり、顔が下がっていたりしていると感じていたのです。暑さが長引いているせいもあるのかな…とも思っていました。

しかし、9月の下旬ぐらいから、あいさつが少しよくなりました。

これは、運動会の練習が本格的に始まった頃と重なります。運動会の練習をとおして、あいさつが一段とよくなったと思うのです。運動会の練習の前と後にはしっかりあいさつをするようにしています。また、全体練習での開会式・閉会式での6年生のすばらしい返事も手本となっているのではないかと思います。「運動会効果」とも言えるよいことだと思っています。

また、先日は、警察のスクールサポーターの方からも「押上小学校の子どもたちは本当にあいさつがよくできますね。『学校の先生に』だけでなく、私たちのような地域の人に見えるのはとてもすばらしいことで、なかなかできないことですよ。」とお褒めの言葉を頂戴しました。その日にちょうど運動会の全体練習があったので、全校児童にそのこととお話ししました。

今は、登校したときの遠くからでもあいさつ、先日は休み時間に廊下を歩いていたら遠くからあいさつなど、本校のすばらしいあいさつが戻りました。引き続き教職員も意識して指導に当たることがあると感じています。ご家庭や地域でも、ぜひ、子どもたちへのあいさつをよろしくお願いいたします。

◎運動会以外の10月の学校の様子をご紹介します。

10月26日(木)～

○農園活動(1～4年)

春に植えたサツマイモを収穫しました。たくさんのおいものがとれました。



10月30日(月)

○花育活動

花の生産や管理について専門家の方からお話を伺い、一緒に学校花壇に花苗を植えました。



※左の「花育活動」は、さくら市のご協力をいただき、花苗を生産している方をお招きして行う緑化活動です。花苗も提供いただいています。感謝申し上げます。

押上小がこんな学校に…

「一人一人が主人公の学校」

「みんなが幸せを感じる学校」

「『また明日ね』と笑顔で帰れる学校」

※学校ホームページも、少しずつ記事を更新しています。よろしければアクセスください。

押上小学校

で検索。

「押小のお宝」認定第5号《線路跡…幻の「長久保駅」》

今回の「押小のお宝」は、校庭南側にある線路跡と長久保駅です。

1886年に鉄道が開業し、さくら市では「長久保駅」ができました。しかし、当時の路線は台風等での被害が多く、1897年に路線変更となり、長久保駅は廃止となってしまいました。長久保駅は約10年の幻の駅でした。線路の跡が発見された本校の敷地に線路と駅の表示が再現されています。

